



令和 2 年 12 月 22 日

## 本学で行っている新型コロナウイルス感染症の 予防対策について

新型コロナウイルス感染が全国的に急増している中、広島大学では、感染予防対策として、各種取り組みを行っております。

既に実施している「講義棟への消毒薬の配置」、「学生へのモバイル Wi-Fi ルーターの貸出」、「フェイスシールドの配布」等の対策に加え、令和 3 年 1 月以降に、講義室の必要な換気量を満たすため、一定の条件を満たす講義室には「二酸化炭素濃度測定器の導入」を予定しております。

このことにより、二酸化炭素濃度を常時測定し、設定値を超えた場合アラームが鳴動し、窓開け換気を促します。

本学では、感染拡大防止のための措置を引き続き講じてまいります。

### < 本学における取り組み >

#### ○ 二酸化炭素濃度測定器の導入

年明け以降、講義室の必要な換気量を満たすため、二酸化炭素濃度測定器を導入します。二酸化炭素濃度を常時測定し、設定値を超えた場合アラームが鳴動し、窓開け換気を促します（講義室の収容定員および受講者数など一定の条件あり）。

#### ○ フェイスシールドの配布

授業や窓口対応での対面に不安を抱く学生・教職員もいるため、9 月下旬から、希望する学生や教職員にフェイスガードの配布を行っています。

また、11 月に実施した広島大学光り輝き入試では、約 1,100 枚を受験生、試験監督者等に配付。今後、実施される前期・後期入試でも配付できるよう準備しています。

#### ○ 講義室アクリル板の設置

飛沫による感染対策として、11 月初旬に講義室の教卓、学生用机にアクリル板を設置しました。

設置後、同室での授業を受講した学生にアンケートを実施し、設置講義室を増やすかどうか検討しているところです。

#### ○ 学生へのモバイル Wi-Fi ルーターの貸出

自宅等にネットワーク環境がない学生に対して、無償でモバイル Wi-Fi ルーターの貸し出しを行っています。（令和 2 年 5 月 27 日から）

- 講義棟への消毒薬の配置  
対面授業の再開にあわせて、各講義棟に消毒薬を配置しています。
- 食堂の利用席数の削減  
11月末までの本学の行動指針レベル1（要注意）（一部の活動制限）の期間も、食堂では席ごとにパーティションを設置していましたが、12月よりレベル1.5に引き上げられたことに伴い、食堂の利用席数を1/2程度とし、座席間の距離を保つ追加措置を行いました。
- キャリア相談、就職関連ガイダンス・セミナーのオンライン化  
昨年度まで対面で実施していたキャリア相談、インターンシップ・就職関連ガイダンス・セミナーを今年度はオンラインで実施（リアルタイム配信、オンデマンド配信）しています。
- 卓越大学院プログラムの学生交流・イベントのオンライン化  
プログラムに係る情報共有、知識・視野の拡大、学生のモチベーション向上、人脈形成等の促進を目的として、学生同士、教職員及び参画企業等との「交流会」をオンラインで実施しています。
- 賑わいパビリオンに機械式換気設備の導入  
(窓が無いため) 扉開けによる自然換気では換気量が不足しているため、現在閉鎖中の「賑わいパビリオン」に機械式換気設備（全熱交換型換気扇）を導入します。

【お問い合わせ先】

教育室教育部長 長谷川  
TEL：082-424-6150